

本調査結果は学力や学習状況の特定の一部であり学校における教育活動の一側面であります。学校として、以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。
保護者の皆様には、さらなるご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】	【算数】
● 本校 ▲ 大阪府（公立） ● 全国（公立） (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 情報の扱い方に関する事項 (3) 我が国の言語文化に関する事項 C 読むこと B 書くこと A 話すこと・聞くこと 全体的な状況 ・ 平均正答率は全国を上回ることができた。 日常の国語の授業の中で本文を要約したり、自分の考えを記述したり、ということに社会科など他の教科においても取り組んできた成果が出てきた。 成果 ・ 知識及び技能においては、全国平均を大きく上回っている 本校がこれまでに取り組んできた、教科書の「たいせつ」（各単元における、児童が身に付けるべき課題）を全学年において確実に指導してきた結果であると考えます。 課題 ・ 思考力、判断力、表現力等においては、全国平均に到達していない。 特に、複数の情報の中から「事実と感想」を分けて読み取ったり、情報を整理したりすることが不十分であったと言える。 課題解決に向けた取組み ・ 学校としては各教科等での学習用語や学習で使用する言語が正確に理解されているのかを、細目に確認しつつ授業を進める。 ・ 「事実と感想」や「複数の情報」などを整理して考えるという学習にも取り組む。	● 本校 ▲ 大阪府（公立） ● 全国（公立） A 数と計算 B 図形 C 変化と関係 D データの活用 全体的な状況 ・ 平均正答率は全国を大きく上回ることができた。 領域別では、特に「B図形」は、9.2ポイント、「C変化と関係」は、7.1ポイントと全国平均より大きく上回った。 成果 ・ 基本的な知識・技能が習得できている。 記述する問題においても全国正答率を大きく上回った。 正答を導き出すだけでなく、考えを記述したり説明したりすることにも多く取り組んだ成果と言える。 課題 ・ 全ての領域において全国平均を上回ったものの、問題文から数量関係を捉える問題において全国平均を下回った。 また、グラフから必要な情報をつかみ、記述するという問題においても下回った。 課題解決に向けた取組み ・ 問題文の内容を正確に読みとることを大切に学習する。 また、回答に必要な条件を満たしているかどうかを大切に、今後も丁寧に学習を進めていく。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目(数値は、%)	本校	府	全国
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか(当てはまると回答)	66.7	55.6	48.8
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(当てはまると回答)	45.1	37.7	30.2
5年生までに受けた授業で、ICT機器を、どの程度使用しましたか(ほぼ毎日と回答)	51	23	25.3
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか(当てはまると回答)	56.9	36.9	36.3
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか(当てはまると回答)	56.9	47.9	47.3
自分には、よいところがあると思いますか(当てはまると回答)	52.9	49.2	43.4

全体的な状況

・ 昨年度同様に、ほぼすべての項目において、全国平均を上回る良好な結果となった。
・ 特に、ICTに関する項目、各教科に関する項目では、全国の平均的な数値を大幅に上回っている。

成果

・ ICT機器を活用した学習では、全7項目の内6項目において全国平均を10ポイント以上回る結果となった。
・ 学習においても、資料をまとめたり、他者と考えを比較して学んだり、発表したりといった項目も15ポイント上回った。

課題を残した主な項目(数値は、%)	本校	府	全国
朝食を毎日食べていますか(していると回答)	78.4	81.2	83.4
平日1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(家庭用ゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(4時間以上と回答)	27.5	23	17.7
平日1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(学習する時間やゲームをする時間は除く)(4時間以上と回答)	23.5	16.6	11.9
将来の夢や目標を持っていますか(当てはまらないと回答)	17.6	8.8	7.7
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(当てはまると回答)	74.5	78	79.5
学校に行くのは楽しいと思いますか	41.2	47.2	47.2
友達関係に満足していますか	47.1	61	62.4

課題解決に向けた取組み

・ メディアバランスについては、これまでも出前授業を中心に啓発授業に取り組んできたが、今後も継続して指導する。
・ 将来の夢や目標については、キャリア教育の積み重ねが大切といえる。取り組みについて今一度見直しを図る。
・ 「いじめは、どんな理由があってもいけない」という回答は、本来100%でなければならないと考えている。
「いじめを認めないこと」「友人関係の充実」「学校の楽しさ」については、最優先課題として安心して楽しめる集団づくりに学校全体で取り組む。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

学習については、国語も算数も知識・理解の定着がおよそできています。また、思考・判断・表現についても、およそ全国平均に到達できています。「主体的な学び」「協働的な学び」という観点においても全国平均を大きく上回る結果となっています。
情報を整理したり、工夫して文章を書いたりといったことをICT機器を活用しながら、深い学びへとつなげることができています。一方では、どの項目においても「あまり当てはまらない」「当てはまらない」といった肯定的ではない回答があったり、将来への展望を持っていない児童、友人関係に悩んでいる児童、学校を楽しめていない児童も一定数います。学習や生活において、どの児童も何らかの困難さと向き合いながら、日々頑張って自立へ向けて過ごしてくれています。それらを克服し、成長につなげることができるように学校は、家庭とともに相談しながら取り組んでいきたいと考えています。

●各項目の詳細については、国立教育政策研究所 (<https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/factsheet/primary.html>) をご覧ください。